

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (令和7年度)

法人名	株式会社 美空	代表者	津野 克久	法人・事業所の特徴	株式会社美空は、高知県南国市・香美市に高齢者介護の事業を展開しています。現在、地域通所介護事業所を1軒、小規模多機能型介護事業所を3軒運営しております。地域に根差した介護を心掛け、利用者様、ご家族様の思いに寄り添ったケアを提供できるよう、日々取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム みそら山田	管理者	津野 優子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	1人	3人	0人	0人	8人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用開始からの1カ月は家族（介護者）へのかかわりを意識して取り組む。 2. 定期的に（モニタリングのタイミングで）暮らしの目標を本人に確認することに挑戦する。 3. 生活歴や経過を把握できるような関わりを実践して日常生活の支援につなげる。 4. 自身の住む地域の民生委員を把握する。「民生委員」について勉強する。 5. 事業所周辺で支援に活用できる地域資源を新たに探し活用してみる。 6. 会議や地域の活動への参加人数を増やす。 7. スタッフ一人一人が事業所運営に関わっていることを自覚し、登録者数や利用状況を説明できるように把握する。 8. 多数の中で自信を持って発言できるようになる為に、今後も自身のスキルアップ向上に取り組む。 9. 介助や情報交換の際のプライバシー保護への配慮を意識する。 	<p>利用者、家族への関わりについては、出来る限り情報収集しそれを全員で共有する事で、支援内容やケア方法を確立する事ができ、サービスに対する不満、苦情等は聞かれていない。</p> <p>事業所全体でレベルアップに取り組み、研修や訓練を計画通りに実施できている。</p> <p>人員不足にて、事業所外での活動に参加する機会がなかなか作れていない。</p> <p>地域に対して事業所をアピールする場を作れなかった。</p>	<p>忙しい業務や人員不足の限られた時間の中で出来る限りの取り組みをしていることが分かった。「情報共有」という課題について、視覚化する事が大事。外部研修への参加は難しいが、資料を集めて読むだけでもいいのではないかと。事業所だけでは外部とのつながりが作りにくいので、呼び込めるよう協力したい。</p>	<p>「職員一人一人が自身の課題を把握し、目標を立ててスキルアップに取り組む」</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>「近隣からの騒音による不快感を軽減する」</p> <p>サービス提供時間（特に日中）に騒音等で不快を感じた時には、積極的に業者に伝える。</p>	<p>近隣の金属回収業者の大きな作業音が聞こえる時があったが、気にならないように音楽を流したり、会話やレクリエーションを盛り上げる等の対応が出来た。常時不快を感じることはなかった。</p>	<p>いつもきれいにしており、環境良く居心地がいい。大きな音が聞こえる時はあるが、それほど気にならない。</p>	<p>「清潔と美化に努め、心地よい環境作りを継続していく」</p> <p>見た目の清潔さだけでなく、感染症対策を徹底し、安心、安全に過ごせる環境作り。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>「より多く小規模多機能事業所を知っていただけるような活動をする」</p> <p>今まで関わりが少なかった分野にも情報発信できるような取り組みを検討していく。</p>	<p>会社の広報担当者がホームページやインスタグラム等での広報活動に取り組んでいる他、四国銀行のTVモニターでのCM等にて、地域の方々に見て頂ける機会を増やしている。</p>	<p>ブログやインスタグラムなどは高齢者にとっては馴染みが薄いですが、家族や介護従事者、その他の若い世代には見られるので、ターゲットにより手段を選びながら、更に広げて行ってみたい。</p>	<p>「事業所の情報発信の幅を広げる」</p> <p>様々なツールや機会を利用して広報活動に取り組む。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>「地域の活動やイベントに利用者とともに参加する」</p> <p>利用者の住んでいる地域の資源活用やその地域のイベントを調べていく。</p>	<p>地域の中で馴染みの場所や商店等の活用は継続できているが、新たに資源を探して活用する事が出来なかった。利用者と一緒に出掛けたい場所があるので、計画して実行していく。</p>	<p>連絡帳やブログでいろいろなどところに出かけていることがわかる。新しい資源を探すことは難しい。そんなに多くの資源があるわけではないので、今活用しているものを継続していく事が大事。</p>	<p>「現在活用している地域資源を継続して活用するための取り組み」</p> <p>地域との関りが途切れないように支援を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>「多様な職種、立場から意見や助言をいただき、運営に反映させる」</p>	<p>市職員、民生委員の方からの意見や指摘等を運営に反映している。多くの参加者を集めようと、開催日時を変えてみたが、変わらなかった。</p>	<p>参加することはないが、資料や議事録で事業所の取り組みや様子がわかる。会に参加して地域の心配な方についての相談や情報共有が出来る場となっている。開催日時は固定のほうが予定を入れやすい。</p>	<p>「事業所の課題だけではなく、参加者や地域の課題にも関わっていく」</p> <p>運営推進会議の中で課題を共有し、解決できるように取り組む。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>「BCPの見直し、内容の具体化」</p> <p>研修、訓練を重ね、現場で活用できるBCPにするために、見直しをはかり、内容を具体化していく。</p>	<p>災害避難訓練・防災訓練を5月、11月に実施した。</p> <p>災害BCP訓練・研修を7月に実施した。</p> <p>感染症BCP訓練・研修を9月に実施した。</p> <p>年1回、香美市消防署に参加要請し、訓練の評価、消火器訓練を実施している。</p>	<p>BCPがきちんと作成され、定期的に訓練や研修が行えるなど、頼りになると思う。自家発電機も設置されたことで、地域の中でも頼れる存在になる。市の公開訓練にも参加してみたいと思う。飲用水だけでなく生活用水の備蓄も検討してはどうか。</p>	<p>「災害、感染症BCPの研修や訓練の取り組み内容を知って頂く」</p> <p>訓練や研修の実施内容をお伝えし、災害時の事業所の対策を理解していただく。</p>

作成日 令和8年3月30日